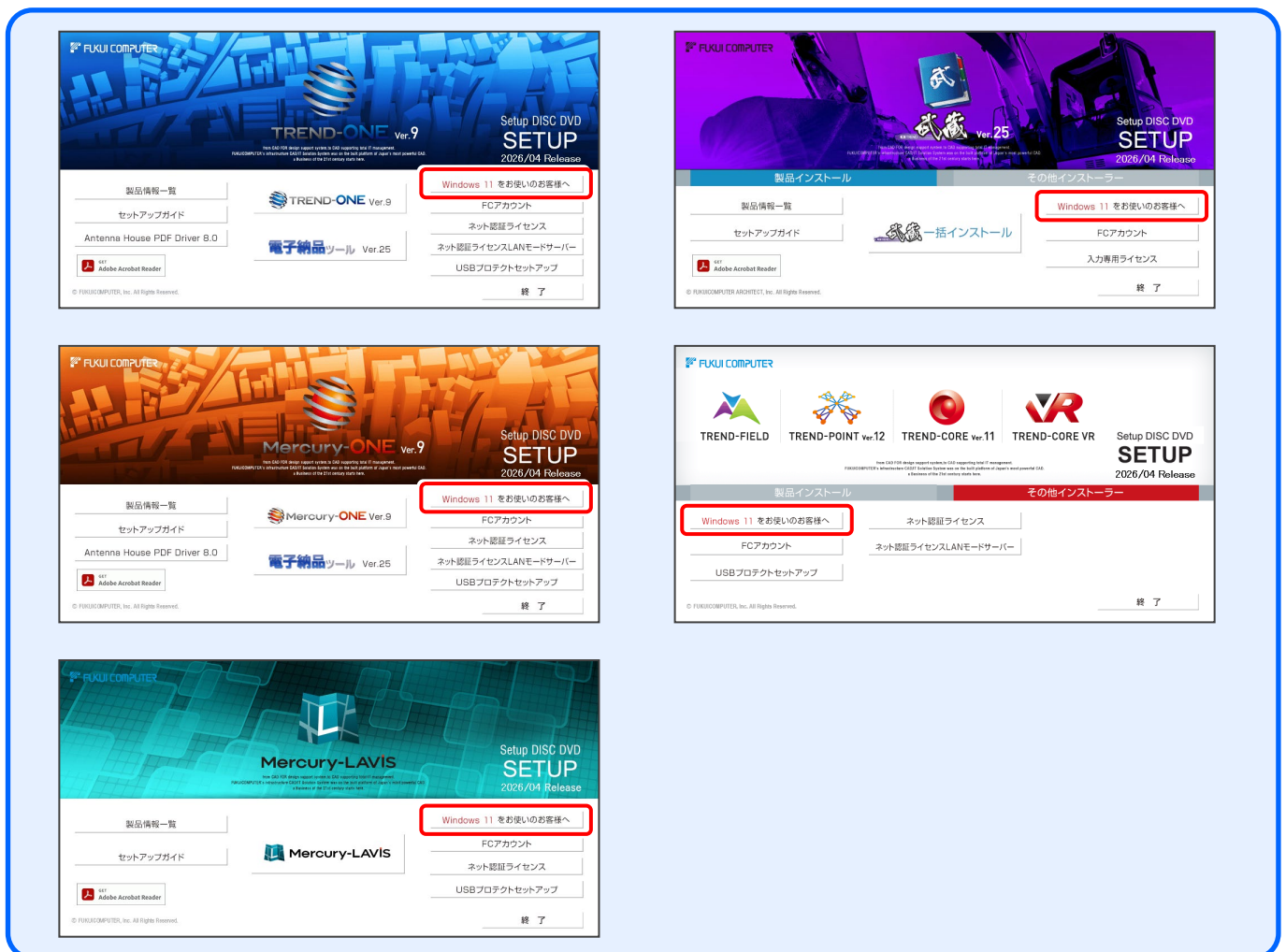


Windows 11 以降／Windows Server 2016 以降 「.Net Framework 3.5」有効化の手順

弊社プログラムを Windows 11 以降 または Windows Server 2016 以降 で利用するには、事前にコンピューターの「.Net Framework 3.5」を有効化しておく必要があります。

※ 本解説は Windows 11 と Windows Server 2016 の画面で記載していますが、その他のOSも同様の手順で有効化します。

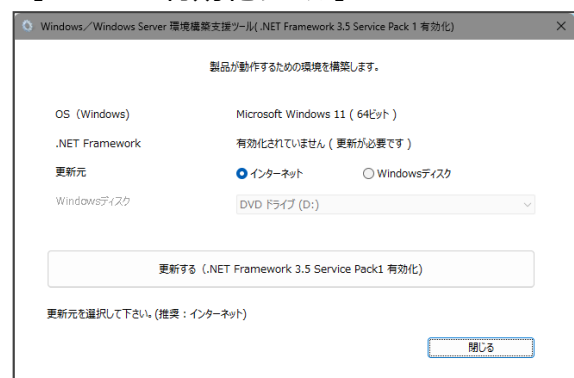
「.Net Framework 3.5」の有効化は、各商品のインストール画面の以下の箇所（赤枠部分）をクリックして起動される「.Net3.5有効化ツール」でおこないます。（下図参照）



有効化の手順については、次ページをご覧ください。

※ 【.Net3.5有効化ツール】での有効化に失敗する場合は、P.6の「補足：その他の有効化手順」をお試しください。

【.Net3.5有効化ツール】



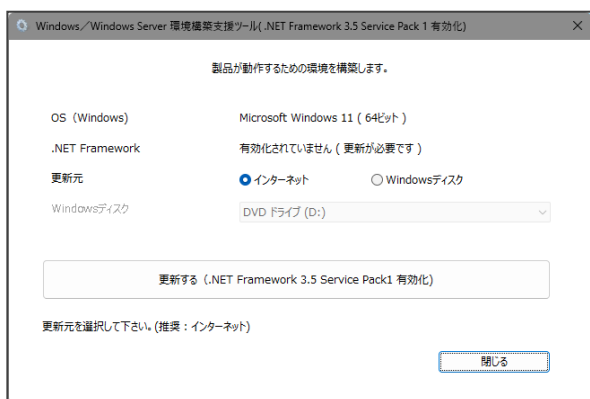
インターネットに接続されている場合

インターネットを利用して、「.Net Framework 3.5」を有効化する手順について解説します。

コンピューターがインターネットに接続されていない場合は、「インターネットに接続されていない場合」(P.4)の手順で有効化してください。

またインターネットからの有効化が失敗する場合にも、「インターネットに接続されていない場合」(P.4)の手順をお試しください。

1. 各商品のインストール画面から「.Net3.5有効化ツール」を起動します。



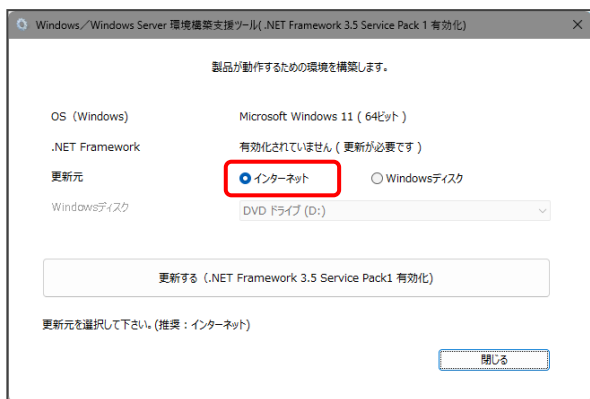
「有効です」と表示された場合は

ツールの起動時に下画面が表示された場合は、既に「.Net Framework 3.5」は有効になっています。

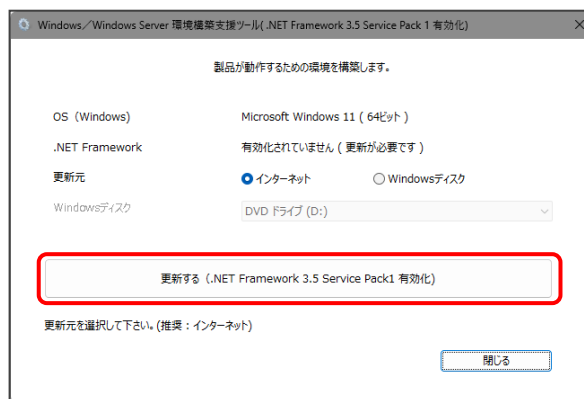
[OK] ボタンをクリックして画面を閉じ、各プログラムのセットアップをおこなってください。



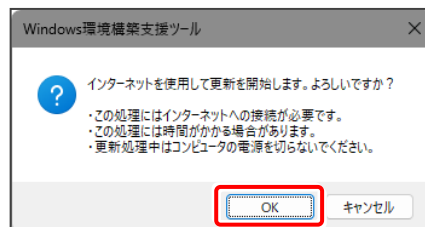
2. [更新元] で、[インターネット] を選択します。



3. [更新する]ボタンをクリックします。



4. 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



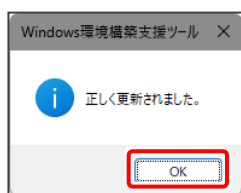
5. 更新が開始されます。

この処理は時間がかかる場合があります。



(次ページへ続く)

6. 更新が完了したら、[OK] ボタンをクリックします。



以上で、「.Net 3.5」の有効化は完了です

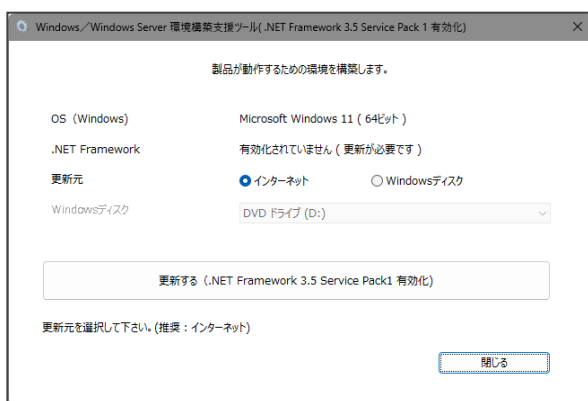
各商品のインストールDVDから、ご利用になるプログラムのインストールをおこなってください。

インターネットに接続されていない場合

Windows のDVDを使用して、「.Net Framework 3.5」を有効化する手順について解説します。

※ お使いの Windows のDVDが必要です。

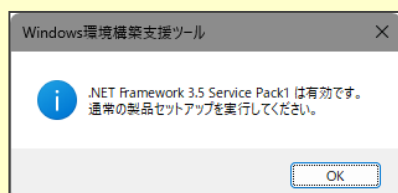
1. 各商品のインストール画面から「.Net3.5有効化ツール」を起動します。



「有効です」と表示された場合は

ツールの起動時に下画面が表示された場合は、既に「.Net Framework 3.5」は有効になっています。

[OK] ボタンをクリックして画面を閉じ、各プログラムのセットアップをおこなってください。



2. [更新元] で、[Windowsディスク] を選択します。



3. インストールDVDを抜いて、お使いの Windows のDVDに入れ替えます。

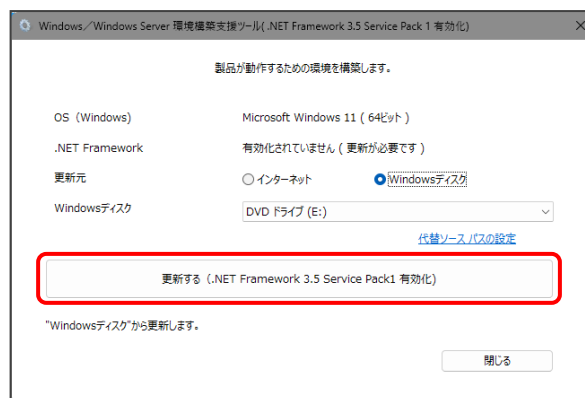


「Windows」のDVD

4. [Windowsディスク] で、Windows のDVDをセットしたDVDドライブを指定します。

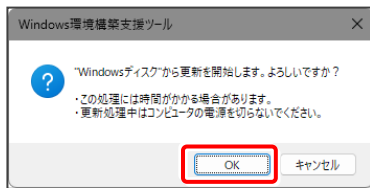


5. [更新する]ボタンをクリックします。



(次ページへ続く)

6. 確認メッセージが表示されますので、
[OK] ボタンをクリックします。

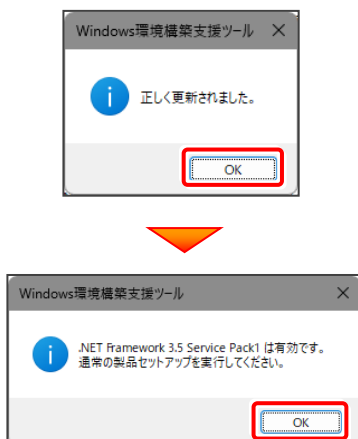


7. 更新が開始されます。

この処理は時間がかかる場合があります。



8. 更新が完了したら、[OK] ボタンをクリックします。



以上で、「.Net 3.5」の有効化は完了です

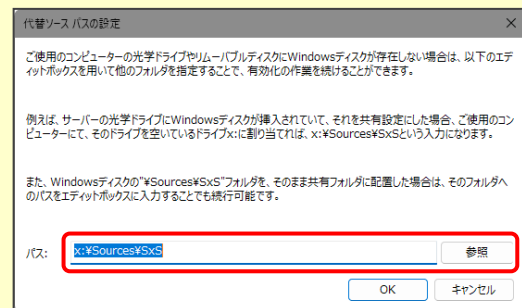
各商品のインストールDVDに入れ替えて、ご利用になるプログラムのインストールをおこなってください。

サーバーのDVDドライブ、またはサーバーにコピーしたWindowsのDVDを利用して有効化することもできます

「.Net3.5有効化ツール」で [Windowsディスク] を選択し、
[代替ソースパスの設定] をクリックします。



[パス] で、サーバーのDVDドライブ、またはサーバーにコピーしたWindowsのDVDの「¥Sources¥SxS」フォルダーを指定します。



[OK] をクリックします。

表示される画面に従って、「.Net Framework 3.5」の有効化をおこないます。

補足 その他の有効化手順

「.Net3.5有効化ツール」で有効化に失敗する場合は、以下の手順をお試しください。

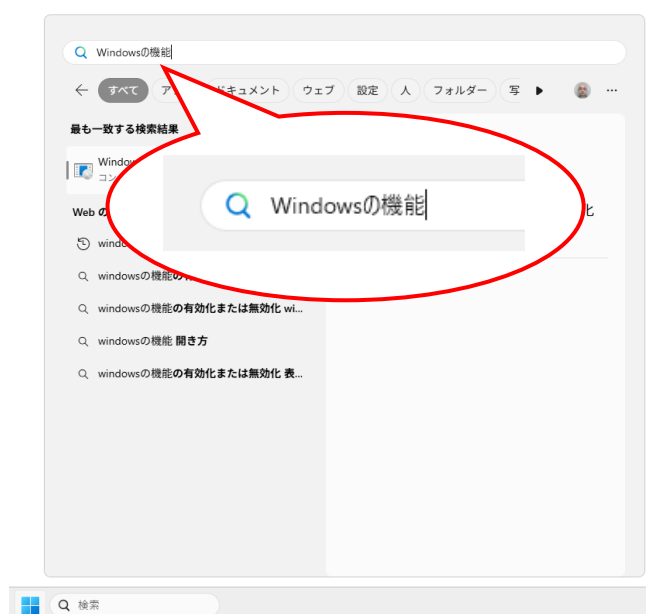
- [Windowsの機能の有効化または無効化] で有効化する (Windows 11 以降) _____ 本ページ
- [サーバーマネージャー] で有効化する (Windows Server 2016 以降) _____ P.8
- コマンドプロンプト (管理者) で有効化する (Windows 11 以降、Windows Server 2016 以降) __ P.9

※ Windows 11 と Windows Server 2016 の画面で解説していますが、その他のOSも同様の手順で有効化します。

[Windowsの機能の有効化または無効化] で有効化する (Windows 11 以降)

※ コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

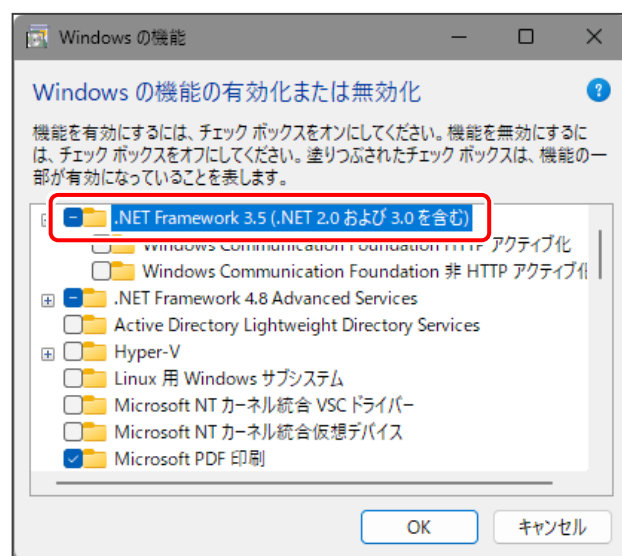
1. キーボードの Windowsキー (⊞) を押し、検索ボックスに「Windowsの機能」と入力します。



2. 検索結果から「Windowsの機能の有効化または無効化」を開きます。

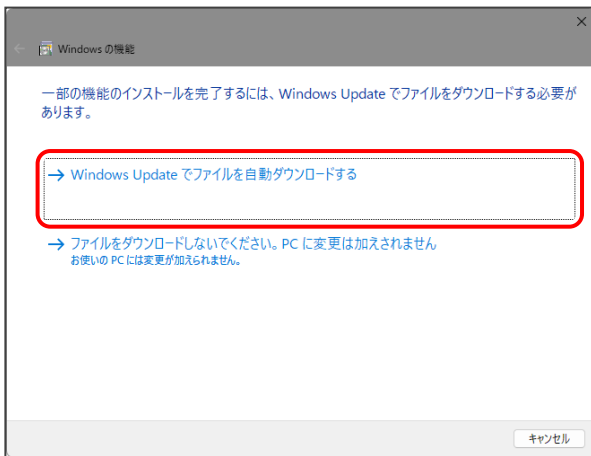


3. [.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)] のチェックボックスをオンにして、[OK] をクリックします。



(次ページへ続く)

4. [Windows Update でファイルを自動ダウンロードする] をクリックします。



5. [閉じる] ボタンをクリックします。



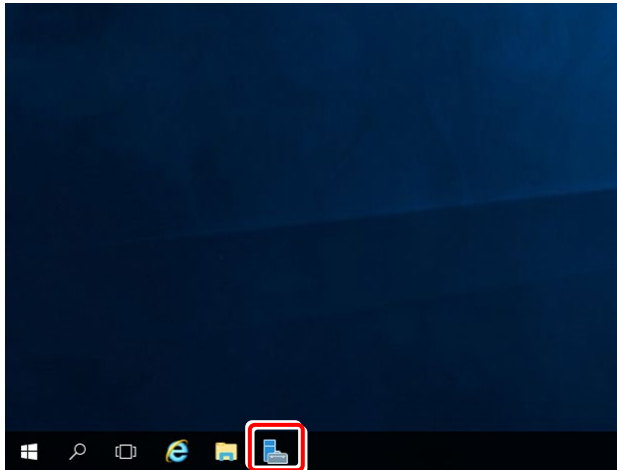
以上で、「.Net 3.5」の有効化は完了です

各商品のインストールDVDから、ご利用になるプログラムのインストールをおこなってください。

[サーバーマネージャー] で有効化する (Windows Server 2016 以降)

※ コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

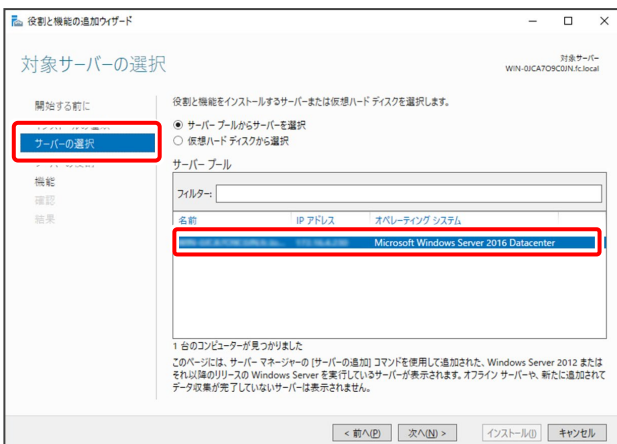
1. Windows Server の [サーバーマネージャー] を起動します。



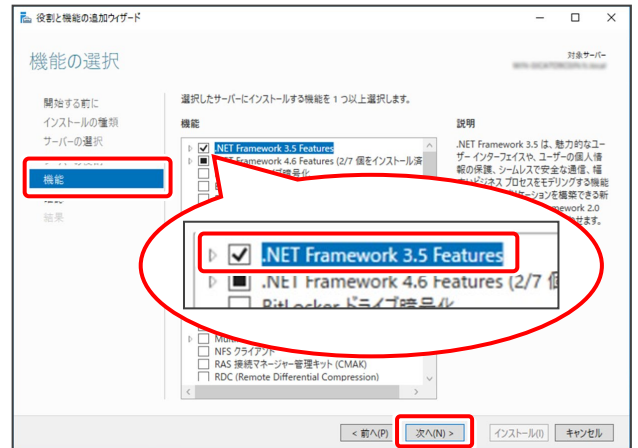
2. [機能] - [役割と機能の追加] をクリックします。



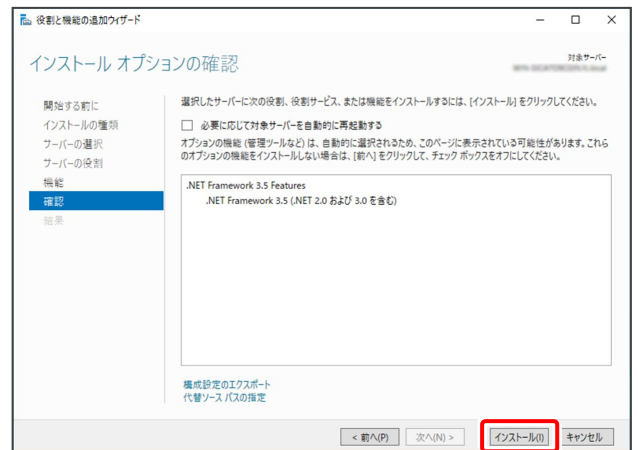
3. [サーバーの選択] をクリックして、有効化するサーバーを選択します。



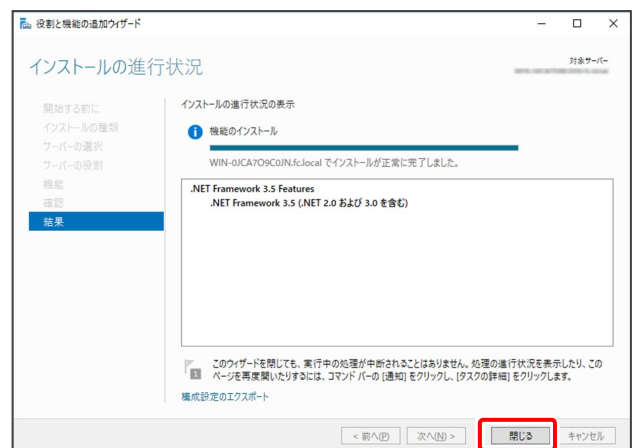
4. [機能] をクリックし、[.NET Framework 3.5 Features] にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。



5. [インストール] ボタンをクリックします。



6. [閉じる] ボタンをクリックします。



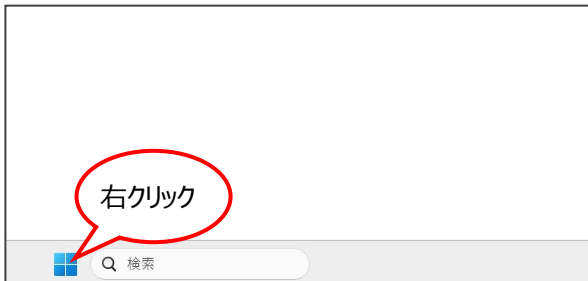
以上で、「.Net 3.5」の有効化は完了です

各商品のインストールDVDから、ご利用になるプログラムのインストールをおこなってください。

コマンドプロンプト（管理者）で有効化する（Windows 11 以降、Windows Server 2016 以降）

※ お使いの Windows のDVDが必要です。

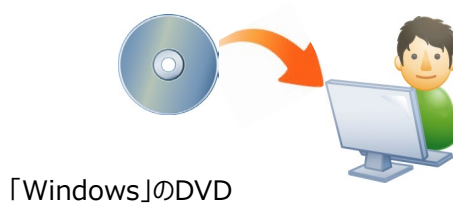
1. Windowsのスタートボタン上で、マウスを右クリックします。



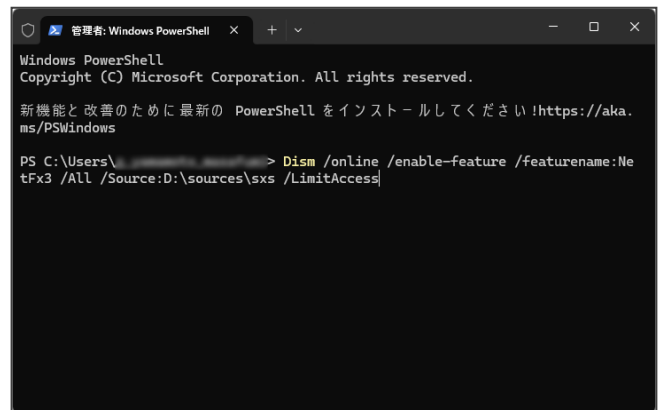
2. [コマンドプロンプト（管理者）]、または [Windows PowerShell（管理者）]、または [ターミナル（管理者）] をクリックします。



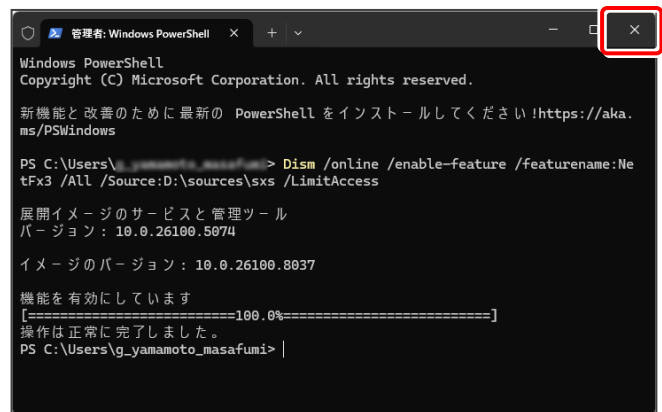
3. コンピューターにお使いの Windows のDVDをセットします。



4. コマンドプロンプト、または Windows PowerShell で
`Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:x:¥sources¥sxs /Limit Access`
 と入力し、[Enter] キーを押します。
 （ x は、Windows のDVDをセットしたドライブ文字）



5. 有効化が終了したら、閉じます。



以上で、「.Net 3.5」の有効化は完了です

各商品のインストールDVDに入れ替えて、ご利用になるプログラムのインストールをおこなってください。